

令和2年度

『内部評価』

父母と教師の会

校長 相馬 真吾

副校長 宮下 靖広

教頭 大村 慎（書記）

《学校運営》

- ・実業高校の取り組みがアンケート結果から生徒、保護者に理解され、満足度が高いことが評価できます。これからも保護者、生徒はもとより、その先の進学先、就職先が当校に期待するニーズに応えられる人財を育ててください。

《教育活動》

- ・教職員の努力で生徒ひとり一人に向き合い、教育されていることが評価できます。特に健康安全の教育において努力されていることがわかりました。

《その他》

- ・日頃より、教職員の皆様には生徒に熱心な情熱と愛情あるご指導いただいていますことに心より感謝申し上げます。情熱をもって現場で働く教職員の方々の声が学校運営に反映され生徒、教職員が活気ある学校になりますことを心より願っています。
- ・すべての調査項目について A(よく当てはまる)B(やや当てはまる)の比率が C(あまり当てはまらない)D(全く当てはまらない)を大きく上回っていることは「学校運営」や「教育活動」が高く評価されているものと考えられます。このことは学校関係者の不断の努力の結果だと思えます。

ただ、アンケートでは A 項目(よく当てはまる)と B(やや当てはまる)は微妙な違いがあり今後 A 項目の割合を高めていくことが重要なことになると思えます。

また、「保護者」と「生徒」の結果を見ますと保護者はすべてにおいて B 項目の回答が多いが、生徒はそうではなく項目ごとに A 回答が多かったり B 回答が多かったりの結果となっており、保護者の皆さんには申し訳ないが生徒の方が今アンケートに真剣に向き合って回答してくれているのではと思えました。アンケートにおいてはその後の分析が大変な作業だと思われそうですが、もっと具体的な意見を聞くとすれば項目ごとに「なぜそう思うのか」といった意見欄を設けることによって分析がより密度の濃いものとなるのではないのでしょうか。

※以上、関係者評価でいただいた意見をまとめました。

特に、来年度の各科年間計画・方針会議で上記意見を勘案し検討をしていき、今後の学校教育に生かしていきたいと考えます。